

第4回公開シンポジウム



文部科学省科学研究費補助金・特定領域研究(平成17-21年度) ●セム系部族社会の形成/ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合的研究

# 西アジア部族社会とビシュリ山系

日時:2008年2月16日(土) 10:00-17:00 ●入場:無料 ●定員:先着70名

会場:サンシャインシティ コンファレンスルームRoom6 (ワールドインポートマート5階)

交通:池袋駅東口から徒歩8分 ●東池袋駅(地下鉄有楽町線)2番出口から徒歩3分 ●東池袋4丁目駅(都電)から徒歩4分

●主催:特定領域研究「セム系部族社会の形成」総括班

お問い合わせ:東京大学総合研究博物館 西秋良宏 03-5841-2491 ●(財)古代オリエント博物館 宮下佐江子 03-3989-3494

<http://homepage.kokushikan.ac.jp/kaonuma/tokuteiryuiki/index.html>

●プログラム

【趣旨説明・基調報告】2007年度ビシュリ山系の総合調査(大沼克彦・国士舘大)

【ビシュリ山系の自然と文化】メソポタミアにおける考古遺跡のデータベース化の研究(松本 健・国士舘大) ●ガーネム・アリ周辺に発達する河岸段丘と微地形(齊藤 毅・名城大) ●ガーネム・アリ村の歴史(常木 晃・筑波大) ●新石器時代のビシュリ(西秋良宏・東京大)

【セム系民族の生活と歴史】北メソポタミア・ハムリン遺跡群出土頭蓋骨の3次元形態変異とその時代的変遷(荻原直道・京都大ほか) ●セム系部族社会の生業基盤(本郷一美・総研大) ●ユーフラテス河中流域の古代建築遺構(岡田保良・国士舘大) ●パルミラのテッセラについて(宮下佐江子・オリエント博)

【考古・文献資料からみた部族】旧石器時代に“部族”の可能性を探る(佐藤宏之・東京大) ●シュメール“語彙リスト”のシリアにおける受容(前川和也・国士舘大) ●テル・タバノ出土文字資料から見た部族(沼本宏俊・国士舘大ほか) ●初期騎馬遊牧民の考古学からみた部族(高浜 秀・金沢大) ●遊牧部族の形成(藤井純夫・金沢大)

【総合討論】ビシュリ山系に西アジア部族社会の起源を探る

